

調査実施日 平成30年6月20日（水）

生徒・保護者のみなさんへ

「平成30年度中学生チャレンジテスト（3年生）」を実施します。

大阪府教育委員会

調査の目的

- 大阪府教育委員会、市町村教育委員会及び学校が、生徒の学力の状況をつかむことで、教育の成果と課題を明らかにし、今後の教育にいかします。
- 生徒のみなさんが、自分の学習の到達状況を正しく知ることにより、自分の学力に目標を持ち、また、その向上への意欲を高めます。
- 大阪府教育委員会が、調査結果を使って、大阪府公立高等学校入学者選抜の調査書に記載する評定が、公平性の高いものであるかどうかを確認する資料を作成し、市町村教育委員会と学校に提供します。

調査の内容

- 対 象：府内の市町村立中学校、義務教育学校後期課程、特別支援学校及び府立支援学校 中学部の第3学年の生徒
- 教 科：国語、社会、数学、理科、英語
（英語はリスニング問題を含む）
- 出題形式：選択式問題（選択肢から選んで答える問題）
短答式問題（短い語句や数値等で答える問題）
記述式問題（長い語句や文章等で答える問題）
- 調査時間：1教科あたり 45分

時間割

1時限目	2時限目	3時限目	4時限目	5時限目
国語	社会	数学	理科	英語

※開始時刻は、各学校で決めます。

出題範囲等

国語

- ◆ 中学校2年生までに学習したすべての内容

※以下の題材を用いて、内容を正確に理解したり、適切に表現したりすることについて出題します。

《取り扱う題材》

- 漢字の読み・書き、言葉の特徴やきまり、伝統的な言語文化に関すること
- 文学的な文章、説明的な文章、古典など
- 児童・生徒が作成したもの、その他図表等を含むさまざまな種類の資料
- 書写（楷書と行書）に関すること

社会

- ◆ 地理的分野

地理の教科書のすべての内容

- ◆ 歴史的分野《出題範囲を取り扱うページ》

発行者	歴史的分野	ページ
東京書籍	「第6章 1節 第一次世界大戦と日本」まで	P.5～P.211
教育出版	「第7章 2 大正デモクラシー」まで	P.6～P.211
帝国書院	「第6部 第2章 高まるデモクラシーの意識」まで	P.1～P.213
日本文教出版	「第5編 第2章 2 大正デモクラシーの時代」まで	P.6～P.221
育鵬社	「第5章 第1節 第一次世界大戦前後の日本と世界」まで	P.6～P.221

※上記以外のページにある資料等（年表、演習、コラムなど）で、上記出題範囲の内容であるものも含まれます。

数学

- ◆ 1, 2年生の教科書のすべての内容

- ◆ 3年生《出題範囲を取り扱うページ》

発行者	単元名	ページ
東京書籍	1章 多項式	P.8～P.35
学校図書	1章 式の計算	P.12～P.45 ◆P.25,26（素因数分解）を除く
教育出版	1章 式の計算	P.9～P.44 ◆P.32～34（素因数分解）を除く
啓林館	1章 式の展開と因数分解	P.12～P.39 ◆P.22,23（素因数分解）を除く
数研出版	1章 式の計算	P.14～P.43 ◆P.38,39（素因数分解）を除く
日本文教出版	1章 式の展開と因数分解	P.10～P.45 ◆P.38,39（素因数分解）を除く

※上記以外のページにある資料等（年表、演習、コラムなど）で、上記出題範囲の内容であるものも含まれます。

理科

- ◆ 1, 2年生の教科書のすべての内容

英語

- ◆ 1, 2年生の教科書のすべての内容
- ◆ 3年生《出題範囲を取り扱うページ》

発行者	単元名	ページ
東京書籍	Unit0, Unit1	P.4~P.15
開隆堂	Classroom English, PROGRAM1	P.6~P.15
学校図書	Pre-lesson, Lesson1	P.5~P.15
三省堂	Lesson1	P.6~P.10
教育出版	Lesson1	P.4~P.13

《取り扱う言語材料》

- 単文, 重文及び複文
- 肯定及び否定の平叙文
- 肯定及び否定の命令文
- 疑問文のうち, 動詞で始まるもの, 助動詞 (can, do, may など) で始まるもの, or を含むもの及び疑問詞 (how, what, when, where, which, who, whose, why) で始まるもの
- 文構造
 - [主語 + 動詞]
 - [主語 + 動詞 + 補語] のうち, 主語 + be 動詞 + $\left\{ \begin{array}{l} \text{名詞} \\ \text{代名詞} \\ \text{形容詞} \end{array} \right\}$, 主語 + be 動詞以外の動詞 + $\left\{ \begin{array}{l} \text{名詞} \\ \text{形容詞} \end{array} \right\}$
 - [主語 + 動詞 + 目的語] のうち, 主語 + 動詞 + $\left\{ \begin{array}{l} \text{名詞} \\ \text{代名詞} \\ \text{動名詞} \\ \text{to 不定詞} \\ \text{that で始まる節} \end{array} \right\}$
 - [主語 + 動詞 + 間接目的語 + 直接目的語] のうち, 主語 + 動詞 + 間接目的語 + $\left\{ \begin{array}{l} \text{名詞} \\ \text{代名詞} \end{array} \right\}$
 - There + be 動詞 + ~
- 代名詞
 - 人称, 指示, 疑問, 数量を表すもの
- 動詞の時制など
 - 現在形, 過去形, 現在進行形, 過去進行形及び助動詞などを用いた未来表現
- 形容詞及び副詞の比較変化
- to 不定詞
- 動名詞
- 受け身
- 音声に関するもの

※上記以外のページにある資料等（年表、演習、コラムなど）で、上記出題範囲の内容であるものも含まれます。

